

岡山県感染症週報 2022年第20週 (5月16日～5月22日)

◆2022年 第20週 (5/16～5/22) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第19週 2類感染症 結核 2名 (幼児 女 2名)

4類感染症 日本紅斑熱 1名 (50代 女)

5類感染症 急性脳炎 1名 (幼児 女)

梅毒 1名 (50代 男)

第20週 2類感染症 結核 4名 (小学生 男 1名、小学生 女 1名、60代 女 1名、70代 男 1名)

4類感染症 重症熱性血小板減少症候群 1名 (80代 女)

レジオネラ症 1名 (70代 男)

5類感染症 急性脳炎 1名 (幼児 女)

新型インフル
エンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 4,470名

0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
957	810	685	766	609	268	176	106	60	33

ソーシャルディスタンス
・マスク・手洗い・換気!



©岡山県「ももっち」

【第21週 速報】

○新型コロナウイルス感染症 1,475名の発生がありました (5月23日～5月25日)。

ワクチン接種も
大切!



©岡山県「ももっち」

1. [新型コロナウイルス感染症](#)は、2022年第20週に4,470名の報告があり (第19週は5,266名)、県内での2020年からの累計報告数は94,110名となっています。詳しくは「[今週の注目感染症](#)」をご覧ください。
2. 第20週までに[日本紅斑熱](#) 2名、[重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\)](#) 1名の報告がありました。これらは、病原体 (日本紅斑熱リケッチア又はSFTSウイルス) を保有するマダニに刺咬されることで感染します。また、SFTSに関してはイヌやネコからの感染も報告されています。予防対策等については[コラム](#)「[ダニが媒介する感染症に注意しましょう!](#)」をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	⬆	★
咽頭結膜熱	⬆	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⬆	★
感染性胃腸炎	➡	★★★	水痘	⬆	★
手足口病	⬆	★	伝染性紅斑	⬆	★
突発性発疹	⬆	★	ヘルパンギーナ	⬆	★
流行性耳下腺炎	⬆	★	急性出血性結膜炎	⬆	★
流行性角結膜炎	➡		細菌性髄膜炎	⬆	
無菌性髄膜炎	➡		マイコプラズマ肺炎	➡	
クラミジア肺炎	➡		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	➡	

【記号の説明】 前週からの推移： ⬆：大幅な増加 ⬆：増加 ➡：ほぼ増減なし ⬆：減少 ⬆：大幅な減少
大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません)
空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

【発熱や風邪のときは「かかりつけ医」等にご相談を！】

新型コロナウイルス感染症は、発熱や咳などで始まることが多く、一般的な風邪や、インフルエンザと初期症状が似ています。

こうした症状がある場合は、無理をして学校や職場等に行かないようにして、「発熱外来」で相談・診療・検査をしましょう。

なお、医療機関を受診する際は、必ず事前に電話予約をし、受診時はマスクを着用してください。

詳細は、岡山県ホームページ → [新型コロナウイルス感染症に関するコールセンター](#)

今週の注目感染症

★新型コロナウイルス感染症

●新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、世界中で感染が拡大している呼吸器症状などを呈する感染症です。咳やくしゃみ、会話などの際に排出される、ウイルスを含んだ飛沫・エアロゾル（飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子）を吸入することで感染すると考えられます。通常は感染者に近い距離（1m以内）で感染しますが、エアロゾルは1mを超えて空気中に留まりうることから、換気不十分な環境では、感染が拡大するリスクがあります。予防接種が進められており、5月24日までで全人口の80.5%が2回、58.1%が3回のワクチン接種を完了しています。また、4回目の追加予防接種が進められています。

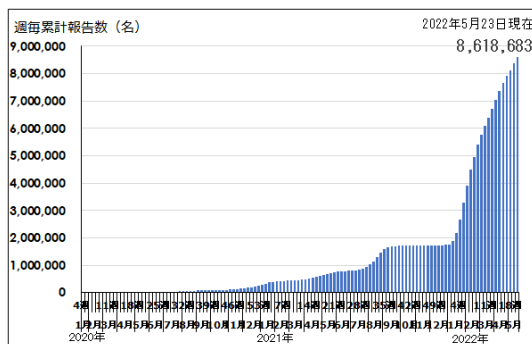
●症状

現在日本で流行の主流となっているオミクロン株は、潜伏期間が2～3日と、従来流行していた株（デルタ株など）と比較し短くなっています。また、上気道で増殖しやすい特性から、従来株に比べ、鼻汁・頭痛・倦怠感・咽頭痛などの風邪様症状の頻度が増加している一方で、嗅覚・味覚障害の頻度の減少が報告されています。しかしながら、肺炎が進展し、重症化する例も少なからず認められます。特に高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、肥満など）のある方がり患すると、重症化する割合が高い傾向にあるとされており、注意が必要です。また、妊婦では妊娠後半期（22週以降）などに重症化する割合が高いことが分かっています（[日本におけるCOVID-19妊婦の現状（日本産婦人科学会、2022年3月1日付報告）](#)）。なお、り患後症状（いわゆる後遺症）については、こちらをご覧ください。→ [罹患後症状のマネジメント・第1版（2022年4月28日発行）](#)

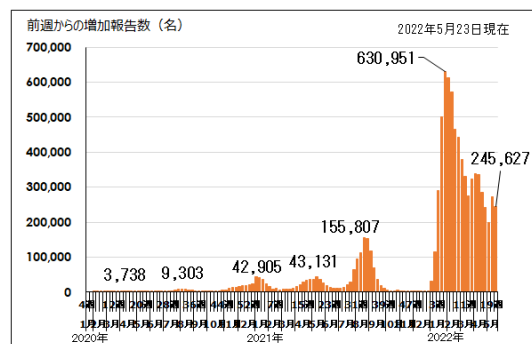
●発生状況

・全国

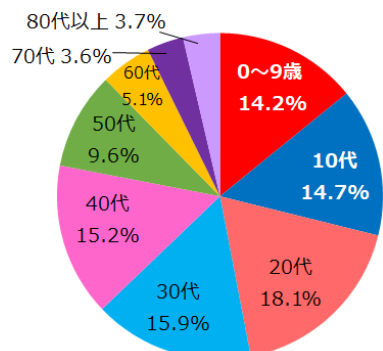
2022年5月25日0時現在まで、国内感染者は累計で8,671,121名、国内死亡者は30,369名、入院治療等を要する者は309,759名（うち重症者103名）となっています（厚生労働省ホームページより）。全国の新規感染者数は、大型連休後半以降に増加傾向を示しましたが、現在は一部の地域を除いて減少傾向です。新規感染者数の減少に伴い、療養者数および重症者数は減少傾向が継続していますが、死亡者数は下げ止まりで横ばいとなっています。国内の流行はオミクロン株BA.2系統（BA.1系統と比較し、感染性が高いとされている）に概ね置き換わりました。引き続き感染防止策および体調管理の徹底に留意しましょう。



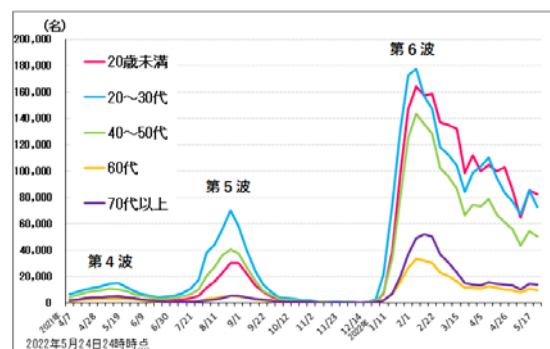
全国 週毎累計感染報告数 厚労省 HP より
(2022年第20週まで(～2022/5/22))



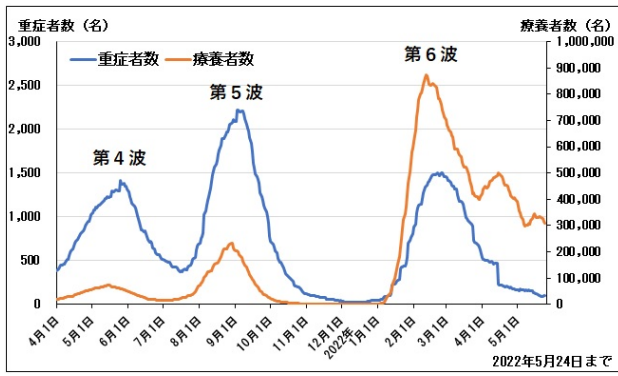
全国 週毎増加感染報告数 厚労省 HP より
(2022年第20週まで(～2022/5/22))



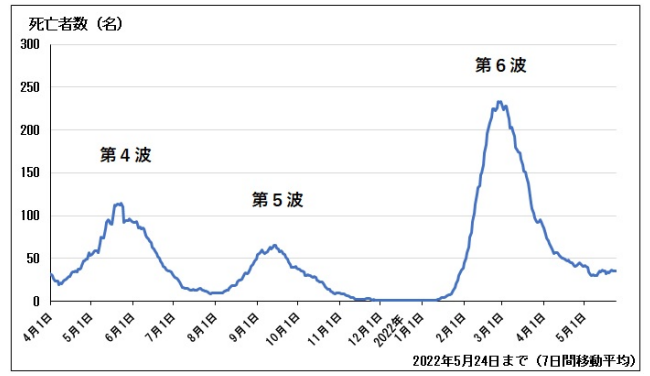
厚労省 HP より(2022年5月24日24時時点)
全国 年齢階級別累計割合



厚労省 HP より(2022年5月24日24時時点)
(2022年5月3日のデータは感染研 HP より独自集計)
全国 年齢階級別発生状況



全国 重症者数・療養者数の推移
(厚生労働省オープンデータより(2022年5月24日まで))



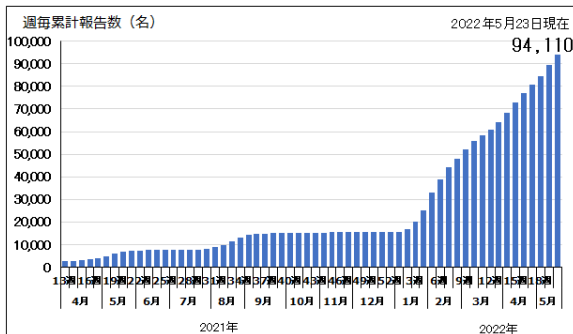
全国 死亡者数(7日間移動平均)
(厚生労働省オープンデータより(2022年5月24日まで))

・岡山県(最新情報)

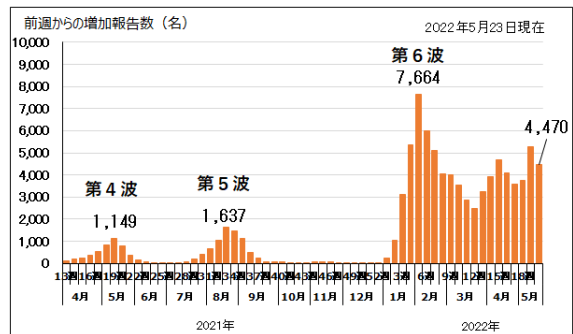
2022年5月26日0時現在まで、岡山県の感染者は累計で95,585名、死亡者は247名(5月19日～5月25日までの1週間で2名増加)となっています。学校・高齢者施設・保育施設などでクラスターが発生しています。直近1週間の新規感染者数は、減少傾向となっています。岡山県においてもBA.2系統に概ね置き換わったものと推測されます。ワクチン接種とともに、基本的な感染予防策(3密(密閉・密集・密接)の回避、マスクの正しい着用、手洗い、換気など)の徹底に留意し、体調が悪いときは速やかに医療機関を受診しましょう。

2022年 第21週 速報 1,475名 年齢階級別発生状況一覧表

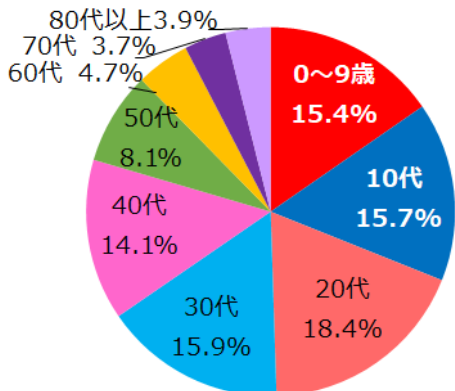
0-9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
320	262	176	251	212	101	52	48	34	19



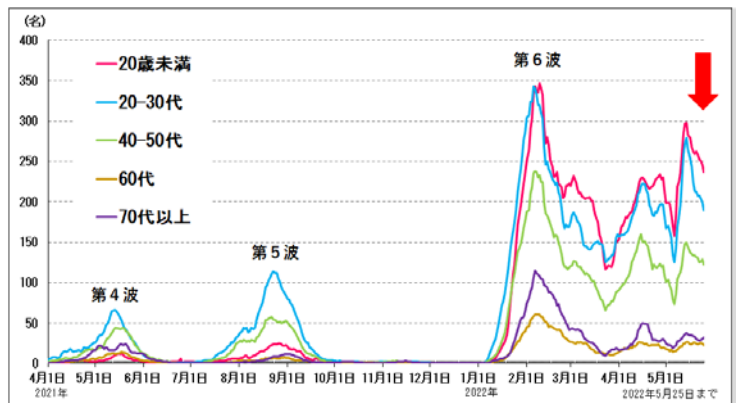
岡山県 週毎累計感染報告数 (第20週まで)



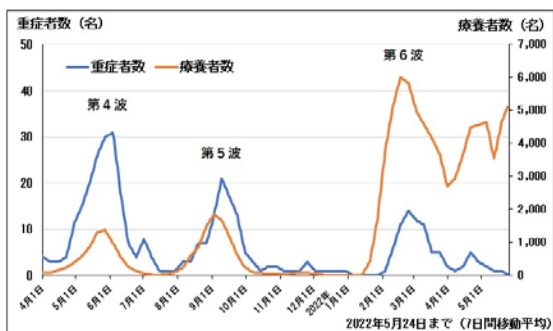
岡山県 週毎増加感染報告数 (第20週まで)



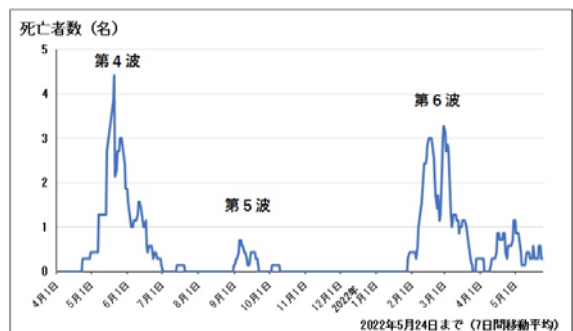
岡山県 年齢階級別累計割合(5月25日まで)



岡山県 年齢階級別発生状況(7日間移動平均、5月25日まで)



岡山県 重症者数・療養者数の推移(7日間移動平均)
(厚生労働省オープンデータより(2022年5月24日まで))



岡山県 死亡者数(7日間移動平均)
(厚生労働省オープンデータより(2022年5月24日まで))

＊子どもの予防接種を確実に！＊



厚生労働省リーフレットより

新型コロナウイルス感染症の流行による影響から、子どもの定期予防接種率の低下が懸念されています。

接種期間内の方は、早めに予防接種を済ませましょう。

予防接種に関する疑問点などは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

[遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診（厚生労働省）](#)
[予防接種スケジュール（国立感染症研究所）](#)

風しんの抗体検査（無料）を受けましょう！

<妊娠を希望する女性や同居する家族の方>

岡山県・岡山市・倉敷市では、先天性風しん症候群（CRS）※の予防を目的として、**風しんの無料抗体検査**を実施しています。

県内の抗体検査実施医療機関において、窓口で費用を負担することなく検査を受けることができます。検査の詳細は、下記のホームページ

岡山市・倉敷市以外 → [風しんの無料抗体検査が受けられます](#)（岡山県健康推進課）

岡山市 → [風しんの無料抗体検査](#)

倉敷市 → [風しん抗体検査について](#)

をご覧ください。

<1962(昭和37)年4月2日から1979(昭和54)年4月1日までに生まれた男性>

風しんの抗体保有率が低い1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に対して、まずは**無料で抗体検査**を受け、**抗体価が低い場合は風しんの予防接種を無料で受けることができる**制度が、実施されています（**2025年3月31日まで**）。以下の医療機関で、無料の抗体検査が受けられます。

[市町村から届いたクーポン券を使用できる岡山県内の医療機関リスト](#)

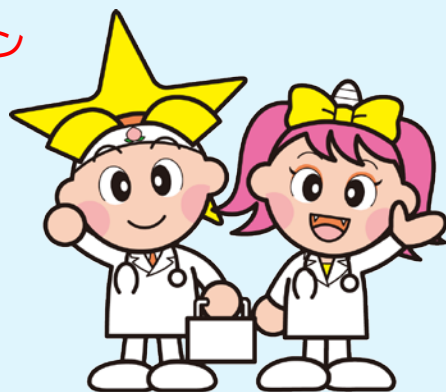
※妊娠初期に風しんに罹患すると、出生児に先天性風しん症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがあります。先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状です。

**3年間延長
されます！**

岡山県の2019年4月～2022年3月の風しんのクーポン使用実績(抗体検査)は、31.5%(2月までは29.8%)と未だに低い状況です！

CRSを防ぐためにも、必要な方は確実に予防接種を受けましょう！

[風しんの追加的対策について（厚生労働省）](#)
[風疹に関する疫学情報（国立感染症研究所）](#)
[“風疹ゼロ”プロジェクト（日本産婦人科医会）](#)



© 岡山県「ももっち・うらっち」

6 / 1 ~ 6 / 7は『HIV検査普及週間』です！

エイズ検査に行こう！今の自分が未来を守る



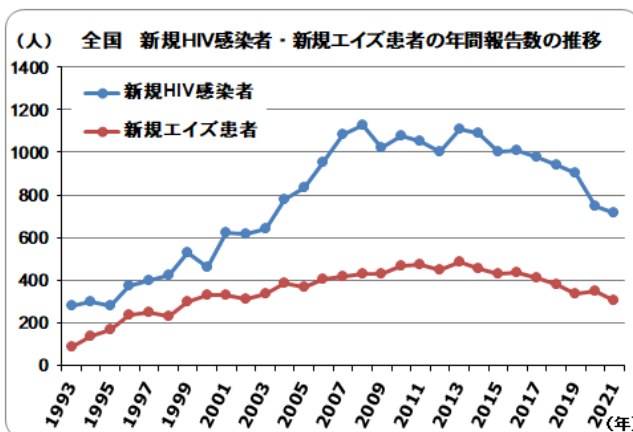
レッドリボン
エイズに対する理解と
支援の象徴

岡山県は、『受けやすい検査』『戦略的な普及啓発』『関係者の連携強化』を3本柱に、全県を挙げて、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染防止と「いきなりエイズ」*防止に取り組む、「おかやまエイズ感染防止作戦」を実施しています。その作戦の重点実施期間である「HIV検査普及週間（6 / 1 ~ 6 / 7）」の事業として、6月中に県内の保健所・支所において、啓発や夜間の特例検査を予定しています。なお、特定の保健所・支所で実施を予定しており、詳細はこちらをご覧ください。 → [【おかやまエイズ感染防止作戦】](#)

※「いきなりエイズ」とは、エイズ（AIDS 後天性免疫不全症候群）発症によって初めてHIVに感染したことが判明することです。HIV感染後エイズ発症まで、通常数年程度の期間を要するとされていますが、気づかずに過ごすため、HIV感染の治療の遅れとともに予期せぬ感染のひろがりにつながる可能性があり、対策が必要です。

1. 全国の新規HIV感染者と新規エイズ患者

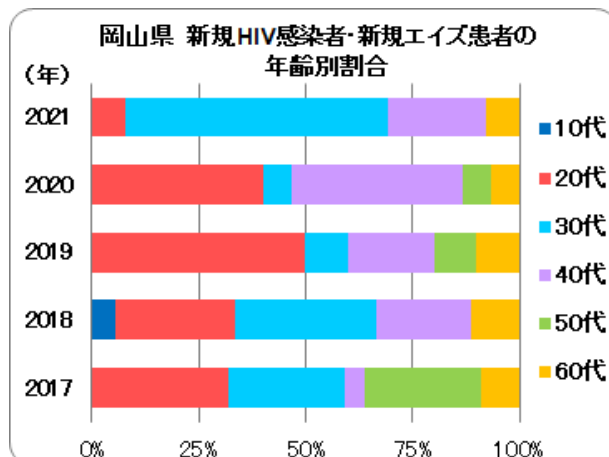
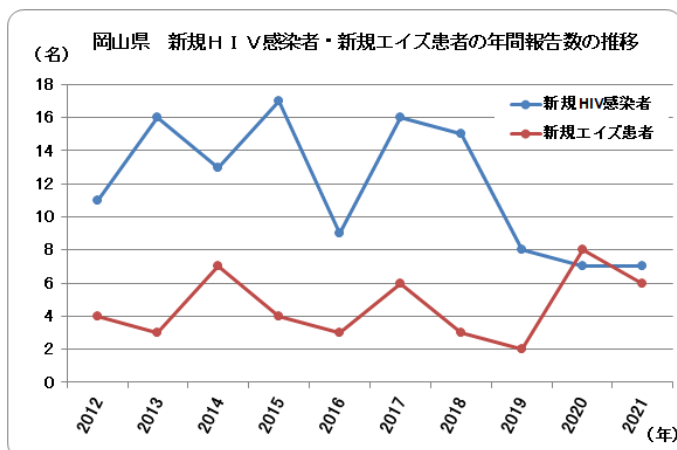
2021年の国内における新規HIV感染者と新規エイズ患者（いきなりエイズ）報告数の合計は1,023件（速報値）であり、2020年（1,095件）とほぼ同数です。2021年および2020年は2019年（1,236件）と比較して減少していますが、新型コロナウイルス感染症に伴う検査機会の減少等の影響で検査件数等が減少しており、無症状感染者が十分に把握できていない可能性があります。この中で新規HIV感染者と新規エイズ患者が継続して報告されており、注意すべき状況です。



新規HIV感染者 …… HIVに感染しているものの、受診時にエイズを疑う症状がなかったもの。
新規エイズ患者 …… 受診時、すでにエイズを発症しており、「エイズ（AIDS）」患者として報告されたもの（す
（いきなりエイズ） …… でにHIV感染者と報告され、後にエイズを発症した症例は除く）。

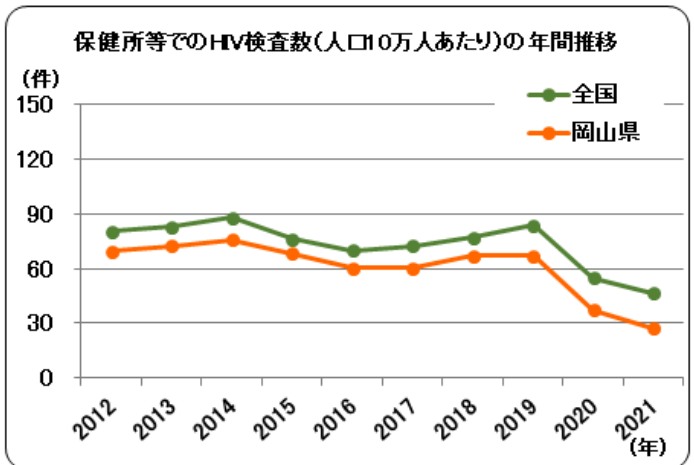
2. 岡山県の新規HIV感染者と新規エイズ患者

2021年の岡山県における新規HIV感染者と新規エイズ患者報告数の合計は13件であり、男性が13名、女性が0名でした。年齢別割合をみると、30代および40代が中心でした。全新規報告数は前年とほぼ同数（2020年15件）で、新規エイズ患者も引き続き報告されています。



3. HIV 検査について

岡山県内で自発的に HIV 検査を受けた人の数は、2015 年から減少傾向にあり、2018 年からは微増していましたが、2020 年は新型コロナウイルス感染症流行に伴う検査機会の減少等の影響により大幅に減少し、2021 年はさらに減少しました。HIV に感染してからエイズ発症までは、通常数年程度自覚症状がない時期が続くため、感染していることに気づきにくく、知らないうちに大切な人にうつしてしまう可能性があります。HIV 治療は急速に進歩しており、早期に感染を知り発症する前に適切な治療を開始できれば、定期的に通院しながら今までとほぼ同じ生活を送ることが可能です。HIV に感染しているかどうかは、HIV 検査を受けないとわかりません。早期発見・早期治療がエイズ発症防止や感染拡大防止にも結びつくことから、拠点病院（一律 1,000 円）や保健所（無料・匿名）での HIV 検査を積極的に利用しましょう。



4. HIV と新型コロナウイルス感染症について

HIV 陽性者への新型コロナウイルス感染症の感染リスク等が高いことを示すエビデンスはありませんが、高齢者や心臓・肺疾患を有する HIV 陽性者は、新型コロナウイルス感染症の感染や重症化のリスクが高くなると考えられます。新型コロナウイルス感染の予防対策とともに HIV の治療やケアを継続することが重要です。

詳細はこちら→[「HIV と COVID-19 について」](#)（国連合同エイズ計画（UNAIDS））

県内 10 か所のエイズ治療拠点病院では、 月曜日から土曜日まで、毎日輪番で検査を実施しています。

- *いずれの拠点病院でも一律 1,000 円で受けられます(要予約)。
- *検査は匿名では受けられませんので、ご注意ください。
- *検査結果は検査を受けた日(約 1~2 時間後)にお知らせします。
- *確実な検査結果を得るためには、感染機会があったと思われる日から、8 週間以上経過していることが必要です。
- *事前に電話での予約が必要です。

岡山県内では、HIV 検査普及週間中に特定の県内保健所・支所 において、定例日以外や夜間でも検査を実施しています。

- ***新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる場合があります。**
- *検査は無料・匿名で受けることができます。
- *通常検査では 1 週間後、迅速検査では 1 時間後に結果をお知らせしています。
- *確実な検査結果(性感染症を含む)を得るためには、感染機会のあった日から、3 か月たって検査することをおすすめします。
- *事前に電話で予約が必要です(保健所によっては予約不要の日時もあります)。

検査日時はこちら

[【 令和 4 年度 HIV 検査普及週間 HIV・性感染症検査実施日時 】](#)

ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)***、**日本紅斑熱**、**つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3月～11月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(ディートやイカリジンを含む)を噴霧するなどし、ダニに刺咬されないようにしましょう。また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。

※SFTSはSFTSウイルスに感染したイヌやネコからの感染も報告されています。
体調不良の動物や野生動物との接触は避けましょう。

★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

- ⇒ [重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)に関するQ&A \(厚生労働省\)](#)
- ⇒ [日本紅斑熱とは \(国立感染症研究所\)](#)
- ⇒ [ツツガムシ病とは \(国立感染症研究所\)](#)
- ⇒ [マダニ対策、今できること \(国立感染症研究所\)](#)



吸血後の
フタゲチマダニ♀



ヤマアラシチマダニ

岡山県環境保健センター
ウイルス科 画像

保健所別報告患者数 2022年 20週(定点把握)

(2022/05/16～2022/05/22)

2022年5月26日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	8	0.15	2	0.14	6	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	0.15	5	0.36	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	3	0.21	5	0.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	261	4.83	102	7.29	45	4.09	67	6.70	28	4.00	9	2.25	-	-	10	1.67
水痘	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	5	0.09	2	0.14	-	-	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	18	0.33	11	0.79	4	0.36	-	-	2	0.29	1	0.25	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	3	0.06	3	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2022年 20週(発生レベル設定疾患)

(2022/05/16～2022/05/22)

2022年5月26日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	0.15	5	0.36	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.17	3	0.21	5	0.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	261	4.83	102	7.29	45	4.09	67	6.70	28	4.00	9	2.25	-	-	10	1.67
水痘	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
手足口病	5	0.09	2	0.14	-	-	2	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	3	0.06	3	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2022年 第20週 2022/05/16～2022/05/22)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～	
RSウイルス感染症	8	3	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	8	-	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	-	-	1	-	2	4	-	1	-	-	1	-	-	
感染性胃腸炎	261	4	33	51	35	19	24	18	5	8	10	8	20	1	25
水痘	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
手足口病	5	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発疹	18	-	8	5	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

2022 年 20 週

分類	疾病名	2022		2021	疾病名	2022		2021	疾病名	2022		2021
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	4	80	247	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	6	82
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	-
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	1	1
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	ジカウイルス感染症	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	1	1	6
	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-
	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	1	4
	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本紅斑熱	-	2	9	日本脳炎	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	1	-
	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	1	9	57
	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	3	14	ウイルス性肝炎	-	-	4	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	4
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)		-	-	1	急性脳炎	1	3	8	クリプトスポリジウム症	-	-	-
クロイツフェルト・ヤコブ病		-	1	4	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	2	4	後天性免疫不全症候群	-	2	13
ジアルジア症		-	-	1	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	-	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
侵襲性肺炎球菌感染症		-	8	17	水痘(入院例に限る。)	-	2	9	先天性風しん症候群	-	-	1
梅毒		-	52	160	播種性クリプトコックス症	-	3	1	破傷風	-	-	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	百日咳	-	6	15
風しん		-	-	-	麻しん	-	-	-	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-
※	新型コロナウイルス感染症	4,470	78,550	14,120		-	-	-		-	-	-

※新型インフルエンザ等感染症

